

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。
① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	オーストリア経済経営大学
留学先での所属学部・研究科:	経営学部
留学先での在籍身分:	留学生
留学期間:	2025年10月～2026年6月
神戸大学での所属学部/研究科:	神戸大学経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	7月1日
本報告書記入日:	2026/7/11

1. 留学先大学について		
1-1	受入許可書 (Acceptance Letter) を貰えた日	3月5日
	参加必須のオリエンテーション日	9/8,9/9
	学期:	① 10月 1日～ 1月 31日
		② 3月 1日～ 6月 30 日
		③ 月 日～ 月 日
		④ 月 日～ 月 日
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	・留学生の割合が4割と非常に高く、様々な人と出会える。 ・学部生にはファイナンス、修士にはマーケティングの評判が高い。
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	言語交換プログラムがあるため、ドイツ語を学ぶことができる。またプログラム内で日本語を学びたい学生と知り合える。
	勉学面でのサポート:	理解に時間がかかる生徒向けに補講を開いてくれる教授もいる。責任を持って生徒に教えようとする教授が多いと感じた。
	精神面でのサポート:	International Officeが学生向けに、様々なイベントを開いてくれる。ヨガなどの精神をリラックスするイベントがある。
	住居・生活面でのサポート:	WUの公式サイトに寮一覧が乗っており、そこから選ぶ形。神戸大学生はOEADを利用する人が多め。
	課外活動のサポート:	課外活動は特に無いが、その分多くの学生イベントがキャンパスで開かれている。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください	クリックで別シートへ

2. 住居について		
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	私はOEAD Gasgasseを利用したが、OEADに拘る必要はないと感じた。留学生向け以外の寮だと家賃を抑えることができる。また、寮近辺は治安は良くなく、寮も故障やトラブルが多い為OEAD以外を検討してみることもお勧めする。Gasgasseに住む場合は、地上階とコモンルームがある7階は避けるべきである。深夜までうるさく、7階の友達が寝れていなかった。

3. 生活について		
3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	毎月の家賃に含まれている。月に数度、寮のWIFIが繋がらなくなることもあるが大丈夫である。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	つながりやすいWIFIが用意されています。
3-2	医療について	
3-2	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	病院には通っていません。しっかりご飯を食べて、深刻になる前に休むことが大切です。私は冬の時期には、持参したビタミン剤を飲んでいました。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	Erste銀行を開設しました。開設時には、パスポート・Acceptanceletter を持参しました。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	業務スーパードリームジャパン財団
	支給額(円/月):	20万円/月
	その他(渡航費等の支給):	渡航費25万円
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	40万円 (2往復分)
	住居費:	(月額) 137000円 × (留学月数) 9ヵ月 = 123万円
	食費:	(月額) 30000 円 × (留学月数) 9ヵ月 = 27万円
	保険料:	現地保険9万円 + OSSUMA 9万円 = 20万円
	旅行:	200万円
	その他:	50万円
	合計(留学期間全体の費用):	450万円

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	かなり違う。留学前は、欧州人という一括りで文化のイメージを持っていたが、留学を通して、ドイツ語圏の特徴・オーストリアの特徴・ウィーンの特徴と細かな違いについて学ぶ機会が多かった。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	期待以上に多くの人と出会った。他大学に通う日本人・日本語を学ぶオーストリア人などが中心だが、学外のイベントであった人と仲良くなる機会もあった。コミュニティを幅広く持つことが良いと思う。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していなかった。日本人学校などコンタクトを取ったが、インターンシップには至らなかった。アルバイトをしている日本人留学生はいたので、法律的には可能だと思う。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	非常に満足である。首都なので、観光名所やアクティビティーが多く飽きなかった。街もコンパクトで安全なため、世界一住みやすい街に選ばれる実力があると思った。また、空港も市内から30分で旅行に行きたい方には便利である。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	留学の後半、4月ぐらいから始めた。自己分析・ES作成・動画選考などが中心だった。面接も受けたので、スーツの持参を強く勧めたい。

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	本、ウェブサイトは見えていませんでした。先輩から話を聞く・インスタでイベントの情報を集めるのが良いと思います。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	めんつゆ・ダウン・服(現地で買うと高い)・ふりかけ・味噌汁のもとなど
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	・人脈 ・語学力向上 ・将来、また会いたいと思える友達 ・キャリアパスは明確にならなかったが、日本帰国後、海外で生活したいと思うようになった。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前: (IETLS 7.0) 点 → 帰国後: (受けてないです) 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	ウィーンでは大きなトラブルはなかった。最大のトラブルは、エストニアで、ヘルシンキ行きのフェリーを逃したことです。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	毎月の報告書を書く際に、自身について振り返る機会があったと思います。サポートは十分なものだったと感じる生徒が多いと思います。強いて言うと、加入する海外保険に関して、生徒が選ぶ選択肢がなく、オズマしか選べないことだと思います。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	KIBERでの交換留学をお勧めします。交換留学をお勧めする理由は、大学を卒業すると海外で生活するチャンスは中々無いと思うからです。また、学生という身分だからこそ、所属できるコミュニティが多く、多くの人と出会えるので生活しやすいと思います。また、KIBERは、2回生の頃から、留学に行きたいという思いを持った学生と仲良くなれるのでお勧めしたいです。私たちの代では、集まれる人でロンドンで集合して年越しをしました。他大学では、大学サポートが手厚くなく、同じ学部から来た人と留学先で初めて知り合ったなどの話も聞きました。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	3
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	2
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	1
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	4
	・留学全体の総合的な評価	4

https://www.instagram.com/kobeu_studyabroad/
https://note.com/kobeu_abroad/n/ncc0ad4d1ea2e

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

ウィーンでの生活や留学準備の詳細については、私が運営に携わる「神戸大学留学リアル」のインスタ・Noteでまとめているので、よければそちらを覗いてみてください。ここでは簡潔にまとめようと思います。
https://note.com/kobeu_abroad/n/ncc0ad4d1ea2e
https://www.instagram.com/kobeu_studyabroad/

■ 留学を終えての感想

帰国して振り返ると、もう留学が終わってしまったのだと、少し寂しい気持ちになります。長かったようで、あっという間の1年でした。

今回の留学は、10点満点中7点ぐらいかなと評価しています。総じて大変満足のいく1年で、一緒にKIBERで頑張ってきた友人、教務の方々、そして家族に感謝しています。一方で、もっと外に出て活動的に過ごせた時間や、友人と過ごせた時間もあったと感じています。生活に慣れてしまうと、これが貴重な体験だという感覚を忘れ、日々を何となく過ごしてしまいがちです。かけがえのない時間なのだと自覚し、一瞬一瞬を最大限に活かすことを1年間続けられていたら、さらに満足度の高い留学になっていたかもしれません。

それでも、見たことのない景色を数多く目にできたこと、日本にいたら出会えなかったであろう友人に出会えたことは、本当によかったと思っています。

私は運よく第1希望のウィーンに留学できましたが、もしウィーン以外へ行っていたら、どんな人に会い、どんな生活を送っていたのだろうと考えることがあります。別の留学先だったら今の友人には出会えなかったと思うとぞっとしますが、その分、また別の誰かと出会って楽しい時間を過ごしていたのかもしれない。実際、第1希望の留学先に行けなかった友人も、とても楽しんでいました。どこへ行こうと、自分の力で最高の留学にしてやるという心構えで臨むことが大切だと思います。

■ 留学準備のTips

- ・スーツは日本から持参しましょう。4回生から就職活動をする場合、春先からスーツを使う機会が多くなります。
- ・就職活動用の証明写真は、留学前に準備しておきましょう。現地で撮ろうとしていた友人もいましたが、費用が高つくきます。
- ・預け入れ手荷物が2個まで無料の航空会社を探しましょう。私たちの代では、EVA航空や中国国際航空(Air China)を利用する人が多かったです。

■ 奨学金について

近年は世界的な物価高と円安が重なり、留学のハードルは上がっていると感じます。しかし、経済的な理由だけで諦めてしまうのは、とてももったいないことです。留学中に感じたのは、コロナ禍以降、アジアや日本のアニメ・文化への人気が高まり、日本に興味を持つ学生や、日本に好印象を抱く人が多いということでした。日本人であることは、今の時代、むしろ留学における強みになると思います。

交換留学を目指すなら、ぜひ給付型の奨学金を検討してください。特に民間財団の奨学生に選ばれれば、まとまった額の支給を受けられ、経済的な負担が大きく軽減されます。選考にはGPAや外部試験のスコア、学外での取り組みなどが求められますが、早めに準備を進めることで、採用の可能性は十分に高められます。私自身、下級生の頃から国際交流サークルに所属しており、そうした活動を選考でアピールしていました。1・2回生のうちの頑張りが、留学中の経済的な余裕にも直結します。留学を目指す学生には、ぜひ下級生のうちから、勉強にも学外での活動にも力を入れてほしいと思います。

私自身も、下級生の時に、先輩の留学報告書を参考に、どこに行こうか考えていた時期がありました。経験者から話を聞くことが1番なので、ためらわず、KIBERの先輩に連絡したら良いと思います。皆、優しくて真摯に質問に答えてくれると思います。

9. 留学経験の共有について

9-1	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-2	あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	学部のウェブサイトに報告書を記載します。留学を検討している経営学部生があなたに連絡を取る事に同意しますか？	はい

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料になります。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	1286 IB Business Project: E-Mobility with Verbund	Dr. Kathrin Schwaiger	1 回／週	6ECTs	英語	10人	Final presentation and report40%【チーム評価】 • VERBUND の課題に対する戦略提言レポートとその発表のクオリティ ① Class participation：20%【個人評価】 ① Interim presentation 20%【チーム評価】 • 中間フェーズにおける分析や方向性の発表。 ① Peer rating: 10%【個人評価】 • チームワークへの貢献度をメンバー同士で評価。 ① Course reflection：10%【個人評価】 • 講義を通じて得た学びに関する個人の振り返り課題。 先生は非常に穏やかでやさしい。participationをしっかりとメモする先生なので、手を上げて発言することも大切だ。また、グループ時に各々がどのような役割を担っているのか(議論を進める役割・幅出しする役割)なども見られていると感じた。
2	2696 IB Business Project: Market entry analysis in venture capital and corporate strategy - A project with Redstone Venture Capital	Frederic Leon Ritter, MSc. MSc	1,2 回／週	6ECTs	英語	30人	Final Presentation: 40% • 最終的な市場参入戦略と投資提案のクオリティ評価。 ① Mid Term Presentation：30% • 中間時点までの分析・リサーチ結果の評価。 ① Participation: 20% • ディスカッションやコーチングでの積極的な貢献度。 ① Peer Rating：10% • 各メンバーのプロジェクトワークへの公平な貢献度を評価し、個人の点数に反映。 個人的には1番苦労した授業。内容が難しく評価が鋭いため、準備には苦労した。
3	2703 IB Business Project: Market Analysis under uncertainty with Austrian Post AG	Jannik Lukas Wiegert, M.Sc.	1,2 回／週	6ECTs	英語	20人	① Final Presentation：40% • 企業パートナーおよび教員に対して行う最終的な戦略提言の評価。 ① Mid Term Presentation：30% • 中間フェーズでの調査結果と分析プロセスの評価。 ① Participation：20% ① Peer Rating：10% こちらと同じく評価が厳しいため苦労した。幸い、チーム内で財務分析・市場分析の経験がある学生がいたため、チームとして一貫性のある提案ができた。この授業はオーストリア郵便局との提携授業だが、このような外部と提携した授業はゲストが多く面白いのでおすすめである。
4	2728 IB Business Project: Sport and International Business	Assoz.Prof. PD Dr. JakAssoz.Prof. PD Dr. Jakob Müllnerob Müller	1,2 回／週	6ECTs	英語	30人	• プレゼン60%， • 授業内での積極性20% • LinkedInのポスト5% • ブログの執筆15% レポートの内容も大きな評価対象であるが、その他の細かいポイントも満点を目指す必要がある。日本にいるときからLinkedInを活用することをお勧めしたい。 この教授は、情報がびっしり詰まったプレゼンスライドを好む人なので、データ集めに非常に時間をかけた。先生によって好むスライドが異なる(コンサル経験者ならコンサル寄りなど)ので、先生の好みに合わせてスライド作成する現地生徒のレベルの高さを感じた。
5	4069 Sustainable Operations	Charlotte Both, MSc.	1,2 回／週	6ECTs	英語	30人	• 個人試験:30% • キャンパスにて実施、個人デバイスを持参。特殊な監視ソフトあり。 • 試験時間は 1 時間、オープンクエスチョン形式 • その他の個人課題:20% • 授業内小テスト(10%):全 3 回実施し、成績上位 2 回分を最終成績に反映 • 個人アサインメント(10%):指定された文献に関する課題を 3 回提出 • グループプロジェクト:50% • 進捗プレゼンテーション(20%):クラス内での口頭発表および質疑応答 • ピアフィードバック(10%):他グループの発表に対するフィードバックおよび質疑 • LinkedIn ポスト(10%) • 最終グループプロジェクト提出(10%) パソコンを用いた初めてのオンライン試験を受けたが、学内試験の監視レベルの高さに驚いた。神戸大学と非常に異なるので衝撃を受けた。
6	4684 IB Business Project: International Energy Strategies	Dr. Martin Schwarzbichle	1,2 回／週	6ECTs	英語	30人	Renewable M&A Case Study (グループワーク&プレゼンテーション): 40% • 再生可能エネルギーM&A 取引のグループ分析。 • 提出物: デューデリジェンス分析、バリュエーションモデル&ショートバリュエーション メモ、SPA 交渉準備資料、および教室内でのアクティブな交渉・発言、最終的なケース結果のグループプレゼンテーション。 ① Final Oral Exam (最終口頭試験): 60% • コースの最後に行われる個人向けの口頭試験。講義内容、リーディング課題、および M&Aケーススタディの全範囲から出題された。 口頭試問は複数の問題が出題される。教授はにこやかで一問ぐらい回答に詰まっても助け舟を出してくれる。

7	5172 Sustainable Tourism	Michał Lemański	1回／週	6ECTs	英語	30人	・中間レポート 30% ・最終プレゼン 20% ・最終プロジェクトレポート 30% ・授業への貢献度 10% ・相互評価 10% 先生は非常に穏やか。授業時間が8時間×3回のため集中力が途切れるが、ゲストが多くためになる授業である。成績評価は優しめ。
8	5341 International Supply Chain Operations	Dipl.-Vw.Dr. Hans-Joachim Schramm	1,2 回／週	6ECTs	英語	20人	最終試験 60%- 最低 60%が必要 ・中間試験 20% - Single Choice ・個人レポート 20%コモディティアセットレポート-網羅性と質で評価 対面授業が同時配信される授業なので、自宅からも受講可能。貿易に関するテクニカルな言葉・法律が出てくるので、難しいと感じる場面も多かった。
9	5934 Vienna Spring Program: Marketing for a Better World	Dr. Eva Marckhgott	5回／週	6ECTs	英語	30人	評価法 ・個人評価 40%,グループ評価 60% ・事前課題 20% ・授業参加 10% ・相互評価 10% ・グループプロジェクト 60% 一週間の短期集中講義。アメリカ・ブダペスト・名古屋商科大学などと提携した授業のため、生徒の大半が一時的にオーストリアを訪れる生徒であった。新しい人に出会うという意味ではいい授業である。
10							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスサイズ: 10名〜30名ほどの少人数授業でグループワーク中心の授業を履修していた。少人数の方が教授との距離が近く、話せる機会も多いと思ったからである。また、グループワークの方が、学生と関わり言語を伸ばす機会が多いので、グループプレゼンの授業を履修していた。

成績評価: プレゼン・授業への貢献度という評価軸は神戸大学と変わらないが、相互評価・対外発信(LinkedIn投稿)を求める授業が多く、違いを感じた。普通にこなしていれば、最高成績は十分に狙える。厳しい成績評価の教授から甘い成績評価の教授まで様々である。

現地学生の取り組み: 学力は神戸大学よりも高い。特にテスト前以外も、図書館が常に一杯であることには驚いた。とても優秀な生徒もいるが、そこまで勉強に力を入れていない学生もいるのも事実である。しかし、総じてレベルは高い。

カリキュラム: 英語開講授業が100ほどあり、様々な授業を受けることができる。また、授業日時も、教授が自由に決めており、短期集中講義や2か月で終わる授業を履修することで、セメスター後半に勉強以外のために時間を確保することもできる。